

第21回国民文化祭・やまぐち2006 特別企画展

萩焼の造形美

人間国宝 三輪壽雪の世界

Jusetsu Miwa: A Retrospective

2006年 10月7日 [土]—11月26日 [日] 山口県立萩美術館・浦上記念館

休館日=月曜日(10月9日は開館)、10月10日

開館時間=午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

観覧料=一般1,000円(800円)、学生800円(600円)

※()内は前売りおよび20名以上の団体料金 ※教育文化週間(11月1日～7日)の開館日は無料

※70歳以上と18歳以下の方、および高等学校、中等教育学校、盲学校、聾学校、養護学校に在籍する生徒は無料

主催=山口県立萩美術館・浦上記念館、朝日新聞社、YABUHO朝日放送、社団法人 日本工芸会山口支部

後援=萩市 協賛=トヨタ輸送株式会社 協力=萩陶芸家協会、エフエム山口

展覧会のお問い合わせ=山口県立萩美術館・浦上記念館 〒758-0074 萩市平安吉586-1 TEL.0838-24-2400

ホームページ<http://www.hum.pref.yamaguchi.lg.jp/>



山口県立萩美術館・浦上記念館
HAGI URAGAMI MUSEUM

「萩焼」の重要無形文化財保持者(人間国宝)で、96歳のいまも現役の陶芸家として活躍している三輪壽雪(1910年生まれ)の80年に及ぶ作陶生活の集大成として、初期作から最新作までが一堂に会する初めての回顧展を開催します。



ポートレート 2006年5月

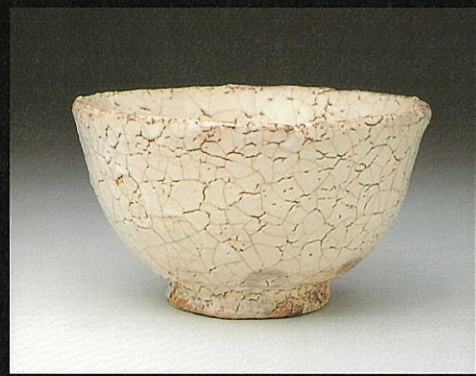
山口県萩の伝統ある陶家、三輪家に生まれた壽雪は、兄・十代三輪休雪(後の休和)に作陶を学び、長い修業の後に45歳から「休」と号して出品活動を始めました。1967年に「十一代休雪」を襲名し、1983年には兄に続き人間国宝に認定されて、名実ともに日本を代表する陶芸家の一人となります。そして2003年、「休雪」号を長男に譲り、自らは「壽雪」と号してさらなる一歩を踏み出しています。

本展覧会では、長い作陶活動を作風や陶技の大きな転機となった四つの時代に分けて、時代ごとに浮かび上がる作風や意識の変化を、茶碗を中心に、独自性に富んだ水指や花入、初公開となる置物など、壽雪が生み出した191点の作品でたどります。

萩焼400年の伝統を継承しながらも古典の真似に終わることなく、茶陶という分野に独創性あふれる豪快な作風で新たな境地を切り開いた壽雪の創造の全貌に迫ります。



《白萩手桶花入》1965年 山口県立萩美術館・浦上記念館蔵



《萩茶碗 銘 早瀬》1968年



《紅萩菱形水指 銘 花簞》1969年



《白萩灰被花入》1990年



《鬼萩花冠高台茶碗 銘 命の開花》2003年



《白萩陶匣 銘 花の宴》1998年

観覧料(税込)

	一般	学生
当日	1,000円	800円
前売	800円	600円
団体(20名以上)	800円	600円

※教育文化週間(11月1日~7日)の開館日は無料です。
※なお、70歳以上と18歳以下の方、および高等学校、中等教育学校、盲学校、聾学校、養護学校に在学する生徒は無料です。

会期中におこなう行事のご案内

● 記念講演会

「現代陶芸史と三輪壽雪」(兼、平成18年度第4回美術講座)
日時:10月14日(土)13:30-15:00
講師:榎本 徹氏(岐阜県現代陶芸美術館館長)
※聴講無料、定員80名[受付先着順]

● 記念シンポジウム

「茶陶の現在—現代陶芸における表現の可能性」
日時:11月3日(祝)13:30-16:50、11月4日(土)9:30-12:30
発表者:金子賢治氏(東京国立近代美術館工芸課長)、久保田厚子氏(岡山県立大学教授)、福島建治氏(朝日新聞社編集委員)、柳原睦夫氏(陶芸家)ほか
※聴講無料、定員80名[受付先着順]

● ギャラリーツアー(担当学芸員による展覧会ガイド)

毎週日曜日(11月12日を除く)の14:00-15:00 参加無料(観覧券が必要です、定員なし)

● 三輪壽雪さんの作品(茶碗)による呈茶

会期中の土・日曜日および祝日 10:00-15:30 会場内1階ロビー
※呈茶券500円(茶菓代)、別途観覧券が必要
※先着80名限定(呈茶券は9:00から当日分のみ販売)
※呈茶は表千家千萩会、裏千家淡交会萩支部、遠州流萩支部、小堀遠州流萩支部、萩陶芸家協会賛助会の協力で開催されます

● ワークショップ「萩焼をつくろう」

萩焼体験コーナーです。萩の土で当日成形したものを窯元で焼成し、後日、美術館でお渡します。
日時:10月7日(土)~9日(祝)、11月11日(土)・12日(日)
10:30-15:30/講師:萩焼作家
※エントランス奥の滝前広場 参加料1,000円 各日定員40名

● スペシャルコンサート「いま生きる邦楽器」

出演:R-505(四世今藤長十郎(三味線)、小松原まさし(キーボード)、藤倉呂英(打楽器)、福原寛(笛))/日時:10月23日(月)14:00-15:30(開場13:00-16:30、この時間帯で展覧会もご覧いただけます)/場所:当館1階特設会場/コンサート鑑賞料:無料(ただし、入場には観覧券が必要です)/応募方法:9月23日~10月7日の期間に往復はがきにてお申し込みください(消印有効)。抽選で120名様に鑑賞整理券を送付します。往復はがきに、申込者全員の氏名・年齢と代表者の住所・電話番号を明記してください。1枚の往復はがきで同時に2名様までお申し込みできます。/お申し込み・お問い合わせ先:〒758-0074 山口県萩市平安古586-1 山口県立萩美術館・浦上記念館「スペシャルコンサート係」 電話 0838-24-2400

● 同時開催の展覧会

浮世絵展示「山口県と浮世絵」10月7日(土)~11月5日(日)
「忠臣蔵」11月7日(火)~12月24日(日)
東洋陶磁展示「青磁の歴史」10月7日(土)~12月24日(日)

【第21回国民文化祭・やまぐち2006 inはぎのご案内】

- 陶芸展 11月3日(祝)~12日(日)/旧久保田家住宅、伊藤博文別邸、旧田中別邸
- 文芸祭「川柳」 11月4日(土)/萩市民館
- シンポジウム「歴史とまち並み」 11月4日(土)~5日(日)/萩市民館ほか
- 「民謡・民舞の祭典」 11月11日(土)/萩市民館 11月12日(日)/萩市役所第三駐車場ほか
- 「たまがわdel!フラメンコ」 11月4日(土)~5日(日)/萩市田万川コミュニティセンターほか
- 「子どもの夢プロジェクト」採択事業「友情一時を超えて今」福島県立会津高等学校合唱部と山口県立萩高等学校合唱部の合同演奏会 11月11日(土)14:30-15:30/山口県立萩美術館・

浦上記念館ティールーム、定員120名(無料)

※お問い合わせ
第21回国民文化祭萩市実行委員会 電話0838-25-3590

【萩の主なイベントのご案内】

萩・竹灯路物語 10月6日(金)~8日(日)/萩城下町周辺
萩・田町萩焼まつり 10月6日(金)~9日(祝)/田町商店街
萩・魚まつり 10月8日(日)/道の駅「萩しーまーと」
萩時代まつり 11月12日(日)/萩城跡ほか市内各所
萩ふるさとまつり 11月11日(土)~12日(日)/萩市役所周辺
※ お問い合わせ=萩市観光課 電話 0838-25-3139
ホームページ <http://www.city.hagi.yamaguchi.jp/portal/>



【交通のご案内】

JR東萩駅=タクシー7分/まあるバス20分/徒歩30分
JR新山口駅=防長交通「特急はぎ号」65分・中国JRバス「特急はぎ号(山口・湯田温泉経由)」83分(萩バスセンター下車、徒歩15分)
萩・石見空港(島根県益田市)=直行バス75分(萩バスセンター下車、徒歩15分)
山口宇部空港=萩近鉄タクシー「乗合タクシー」75分
(ただし利用前日までの要予約、電話 0838-22-0924)
中国自動車道=小郡I.C. 美祿I.C. 各50分